

## 避難所運営ゲームHUG（ハグ）を行う

実施に向けて	大規模災害による避難所の開設を想定し、避難所運営を皆で考えるための防災学習手法です。避難者の年齢、性別、国籍や、それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所となる体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験します。
必要なもの	●避難者・イベントカード ●仮想避難所平面図 ●付箋紙 ●マジック など
対象者	●自主防災組織の役員 ●地域住民
お問い合わせ	●活動の相談：広島県消防保安課（電話：082-513-2790）

### STEP 1 ゲーム条件を決めます

地域で想定する災害や、避難所開設時の状況、その日の天気など、ゲームを進めていく上での条件を事前に決めます。また、ゲーム時間も決めておきましょう。

参加者の意見を聞きながらゲームを円滑に進行していくためには、1グループ6～8名が適切です。ゲーム開始時はテーブルの中央に避難所の平面図を開き、グループの意見をまとめる進行係を決めましょう。



### STEP 2 ゲームを実施します

全体の進行係はカードを次々に読み上げ、参加者は避難者カードを避難所平面図に配置していきます。カードを読む速度はなるべく早く、実際の避難所の混乱を想像しながら進めていきましょう。

### STEP 3 意見交換を行います

ゲームが終了したら、避難所平面図上のカードの配置を再確認し、「どのような理由でこのような配置になったのか」意見をまとめます。まとめた意見を基に、グループ発表を行うなど意見交換を行いましょう。

#### 活動のポイント

- カードを読みあげるときは、プレイヤーが前のカードを配置し終わる前に次のカードを読みあげるのがコツです。実際の災害時では、避難者は待ってくれません。
- 明確な正解はありません。実際に災害が起きた時によりよい対処ができるよう、様々な意見を出し合しましょう。
- カードの内容に、中山間地では“孤立による問題”、市街地では“帰宅困難者の避難受け入れ”など、地域で想定される事象を取り入れてみましょう。より実践的な訓練となります。

## 避難所運営ゲーム実施例

実施地域	三原市 中之町下町内会防災会
実施日	平成25年11月24日
参加者	自主防災組織役員・住民団体代表・地元中学生・地域住民 計98名
準備品	班別配布：●避難者・イベントカード ●仮想避難所平面図 ●マジック 個人配布：●付箋紙 ●ペン 進行用：●マイク ●パソコン ●プロジェクター

### 実施内容

時間	項目	活動写真
8:30	中学校の体育館へ集合・参加者確認	
8:40~9:00 (20分)	開会挨拶	
9:00~11:00 (120分)	避難所運営ゲームの手順説明 避難所運営ゲームの実施	
11:00~11:20 (20分)	休憩（他班のゲーム結果を確認）	
11:20~11:50 (30分)	グループ発表・意見交換	
11:50~12:00 (10分)	閉会挨拶	

#### 参加者の感想

- 避難所運営の大変さを疑似体験することができた。
- 避難所運営のための役割分担を日頃から明確にしておきたい。
- 本日は机上でのシミュレーションであったため、今度は実際に動いて訓練したい。



#### 活動メモ

#### 避難所運営ゲームを実施すると、どんなことが分かるの？

- 避難所運営ゲームはあくまでも「ゲーム」です。楽しみながら意見を出し合うことで、実際の運営に必要な課題を発見することができます。

#### [避難所運営の課題例]

- ①避難所の収容人数
- ②配慮を必要とする人の配置
- ③避難所スペースの使い方
- ④運営に必要な資機材
- ⑤介護・医療など必要な人材の確保
- など